

— 情報と社会を結ぶ、これからのクライアント運用管理へ —



毎年 お客様の声を取り入れ、 バージョンアップ

SKYSEA Client View Windows Storage Server対応に関する ご紹介

動作が
軽い

検索が
速い

使い
やすい

目次

- 前提条件 P.3
- Windows Storage Server対応で出来ること P.4
- 特徴 P.5
- ログ収集について P.6
- 構成 P.7
- サーバー運用への移行 P.8
- ご利用時の制限事項 P.9
- 対応製品について P.10-13
- SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧 P.14-18
- NASへのSKYSEA Client Viewのインストールについて P.19
- その他、NAS使用時の留意事項 P.20-21

前提条件

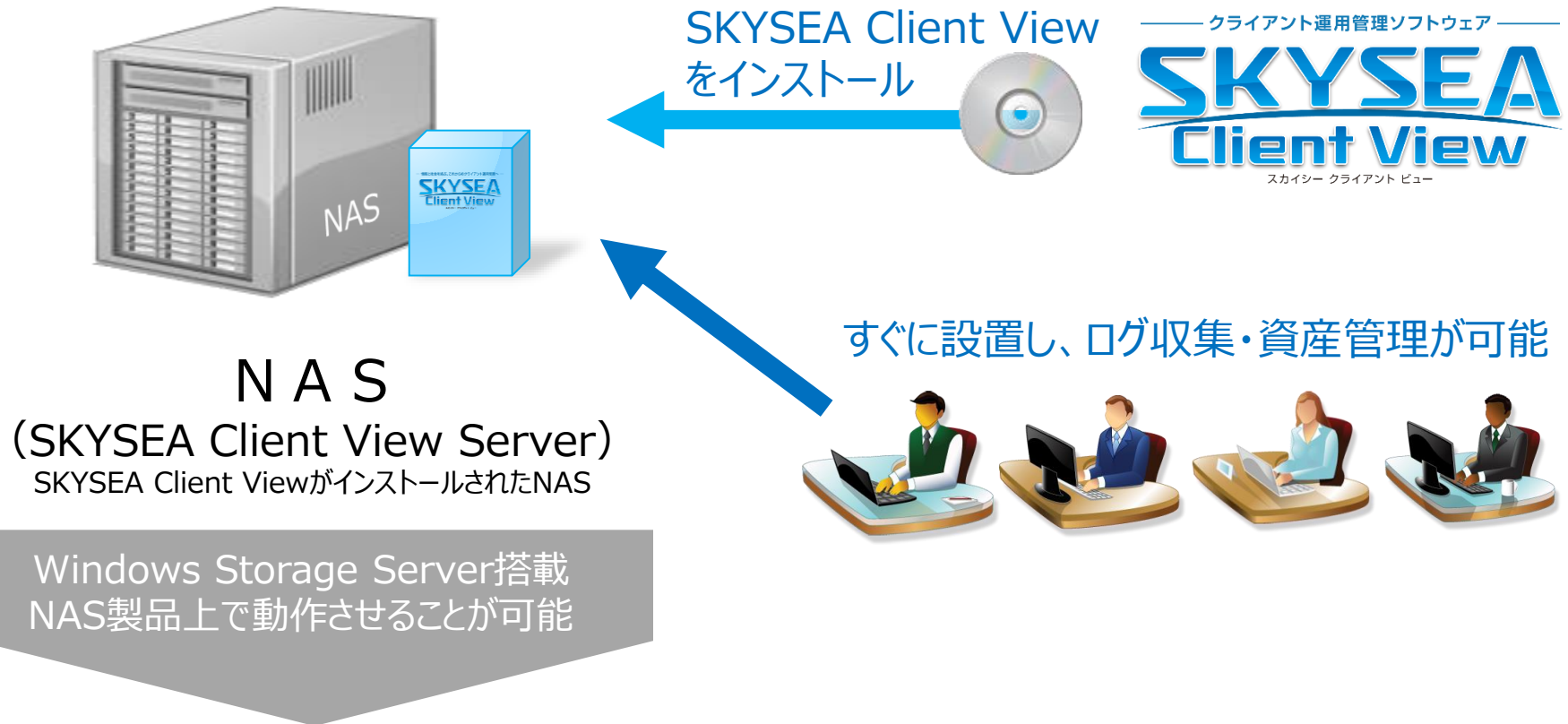
Microsoft社においては、Windows Storage Server上にソフトウェア（一部を除き）をインストールすることはライセンス許諾されておりました。しかし、株式会社アイ・オー・データ機器様、ロジテック株式会社様よりマイクロソフト株式会社様への確認の結果、以下の条件付きで、SKYSEA Client Viewをインストールすることが可能であると確認されました。 （五十音別）

NAS使用許諾条件

SKYSEA Client Viewインストールの条件

クライアントPC等の情報を蓄積して活用するのみに限定して、SKYSEA Client Viewサーバー機能をWindows Storage Server搭載NAS製品上で動作させることが可能です

Windows Storage Server対応で出来ること



ログ収集・資産管理などが可能に

特徴

こんな方に**オススメ**です

Serverは持ちたくない！

管理や運用に手間がかかるし、費用も高い。



個人情報を扱う部署だけ小規模に
ログ管理をやりたい！

管理するのは15台だけなので、あまり手間をかけずに構築・運用したい。



CALの管理が大変

サーバーにアクセスするPC台数分のサーバーCALは高額になるし、管理も大変・・・



ログ収集について

50台のクライアントPCのログを約 **5年間**収集可能です



Windows Storage Server NASは、SKYSEA Client Viewのマスターサーバー、データサーバーとして利用できます。

最大50台までのクライアントPCの管理にご利用いただけます。

5年間のログデータ容量 : 1日1MB/PC × 50台 × 365日 × 5年間 = 約92GB

NAS装置がトラブル発生した際に、クライアントの動作に支障がある？

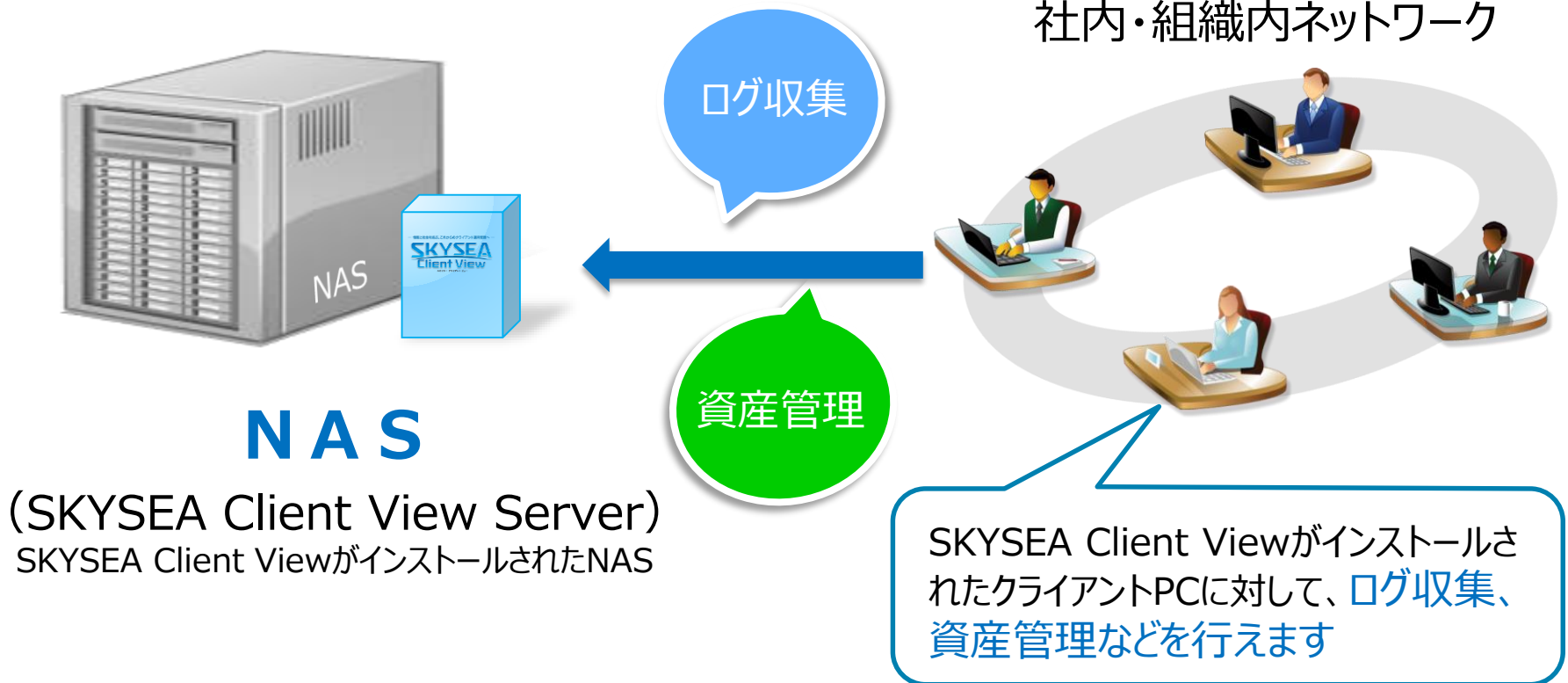
→障害発生時にも、SKYSEA Client Viewのクライアント側の機能により、ログ収集とクライアントの動作に異常は発生せず、継続可能で、業務は停止致しません。

管理できる台数は？

→NASのCPUやメモリの点から、弊社では最大クライアント台数は50台とさせて頂いております。
(NASをSKYSEA Client View専用機ではなくNASとしても利用する場合にはNASの推奨台数を上限とします)

構成

利用イメージ



サーバー運用への移行

本格的なサーバー運用への移行時も**無駄がありません**

1.

最初はNASで運用

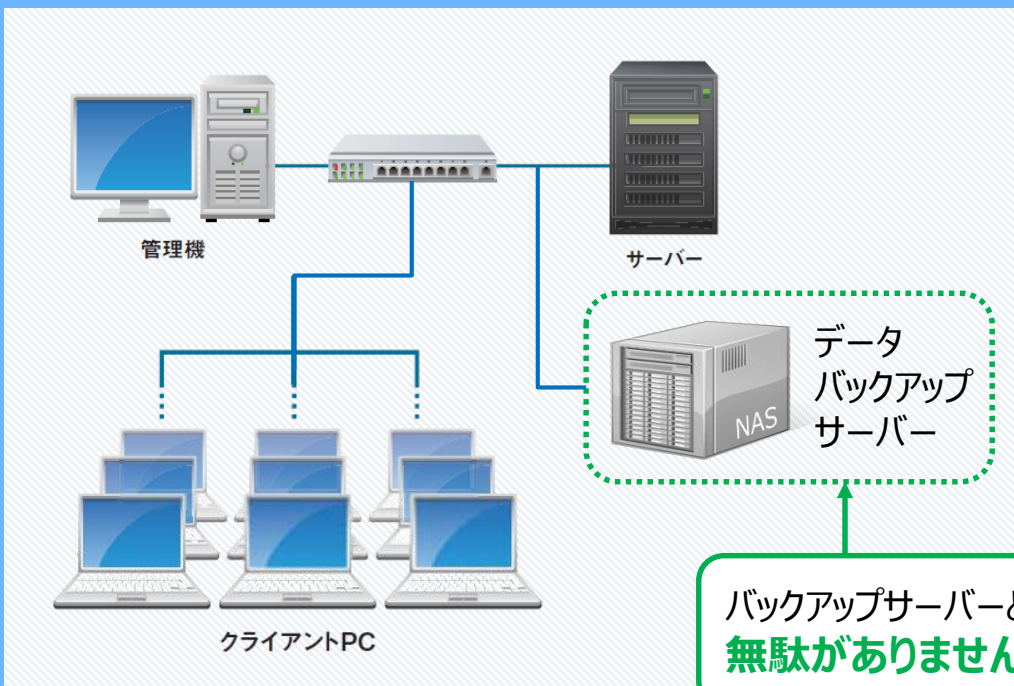


部門導入から
全社展開にも対応



2. あとから台数が増えても本格的なサーバー運用に移行できます

本格的なサーバー運用への移行時もNASはデータバックアップサーバーとして運用可能です



ご利用時の制限事項

- **最大 50 台までとします**（NASの搭載CPUからの制限事項）

（NASをSKYSEA Client View専用機ではなくNASとしても利用する場合には、50台以下でNASの推奨台数を上限とします）

- **Microsoft社のライセンス許諾上、ご利用頂けない機能**

省電力支援機能/ソフトウェア配布機能/Windows更新プログラム配布実行/印刷物取り忘れ機能 など

（詳細は本資料機能一覧をご覧ください）

- **Microsoft社のライセンス許諾上、購入できないオプション**

不許可端末検知/サーバー監査/申請・承認ワークフローシステム

- **SKYSEA Client View 対応NAS製品**（Microsoft社より許諾を受けられたNASメーカー様※五十音順）

Ver.9.2

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDL-Z4WMC2、HDL-Z2WMC2、HDL-Z6WLC2、HDL-Z4WLCR2

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDL-Z4WSA、HDL-Z4WSV、HDL-Z2WSA、HDL-Z2WSV、HDL-Z2WSLP

Ver.7

株式会社バッファロー様

WS-QVL/R5SE、WS-QVL/R5、WS-RVL/R5、WS-6VL/R5、WS-WVL/R1

ロジテック株式会社様

LSV-MS2CW、LSV-5S4CW、LSV-5S4CW2、LSV-5S4CS2

対応製品について

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDL-Z4WMC2シリーズ、HDL-Z2WMC2シリーズ、
HDL-Z6WLC2シリーズ、HDL-Z4WLCR2シリーズの特徴

NEW

Ver.9.2対応

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA



↑ HDL-Z4WMC2シリーズ



↑ HDL-Z2WMC2シリーズ



↑ HDL-Z6WLC2シリーズ



↑ HDL-Z4WLCR2シリーズ

SMB3.0 対応

最新のファイル共有プロトコル「SMB 3.0」に対応。Windows 8で抜群のパフォーマンスを発揮します。さらに使用帯域の制限や負荷分散に対応しました。

高速データ転送を実現する ハイパフォーマンス

CPUにAtomデュアルコアプロセッサ、メモリを4GB搭載したハイパフォーマンスモデル。複数ユーザーからの同時アクセスにも強いほか、バックアップソフトやウイルス対策ソフトをインストールした際も快適に動作可能です。

Atom デュアルコア
プロセッサ

4GBメモリ

WD社の高信頼NAS用ハードディスク「WD Red」を採用

Western Digital社のNAS用ハードディスク「WD Red」を搭載しています。

24時間、常時稼働が前提のNAS運用において課題になりやすい熱・振動への対策、電力消費が改善がされ、さらに長期3年保証を実現した高信頼ハードディスクです。

<WD Redのポイント>

- ・長期3年保証を実現
従来モデルは1年だったハードディスクの保証期間を延長しました。
- ・省電力
常時稼働時のNASの運用コストを削減します。
- ・熱、振動に強い
NAS本体内の温度上昇や振動による故障のリスクやパフォーマンスの低下を低減します。



型番	HDL-Z4WMC2 / HDL-Z2WMC2 HDL-Z6WLC2 / HDL-Z4WLCR2
OS	Windows Storage Server 2012 Workgroup R2 (64ビット)
CPU	Intel Atom Processor 2.13GHz(Dual Core)
メモリ	4GB
推奨同時 接続台数	50台

対応製品について

株式会社アイ・オー・データ機器様

HDL-Z4WSAシリーズ、HDL-Z4WSVシリーズ、HDL-Z2WSAシリーズ、
HDL-Z2WSVシリーズ、HDL-Z2WSLPシリーズの特徴

進化する明日へ Continue thinking

I-O DATA



↑ HDL-Z4WSA/
HDL-Z4WSVシリーズ

↑ HDL-Z2WSA/
HDL-Z2WSV/
HDL-Z2WSLPシリーズ

型番	HDL-Z4WSA/ HDL-Z4WSV	HDL-Z2WSA/ HDL-Z2WSV HDL-Z2WSLP
OS	Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup Edition	
CPU	Intel Atom Processor D510 1.66GHz (Dual Core)	
メモリ	2GB	
推奨同時 接続台数	50台	

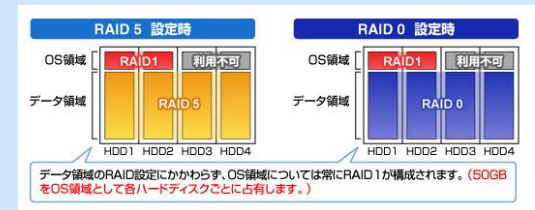
SMB2.1 対応

ファイル共有プロトコルとして「SMB2.1」に対応。
Windows 7などのクライアントOSとの組み合わせで
抜群のパフォーマンスを発揮します。
Windows Storage Server 2008 R2は、
Windows Vistaと組み合わせた時に高速な
SMB2.0が、Windows 7と組み合わせた時により
高速なSMB2.1が適用されます。

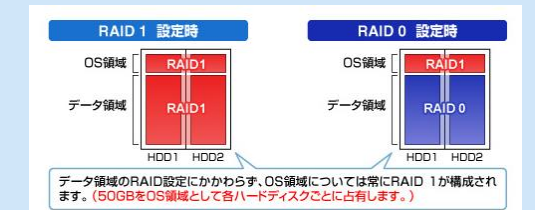


RAID機能搭載、ホットスワップに対応

HDL-Z4WSA/ HDL-Z4WSVシリーズは4台のハード
ディスクを搭載し、RAID 0 (ストライピング) および
RAID 5 (出荷時設定) を構成可能。RAID 5を構
成時には、4台のうち1台のハードディスクが故障した場
合にも、ハードディスクを交換することでデータを損失する
ことなく復旧が可能です。



HDL-Z2WSA/ HDL-Z2WSV/HDL-Z2WSLPシリ
ーズは2台のハードディスクを搭載し、RAID 0 (ストライ
ピング) およびRAID 1 (ミラーリング：出荷時設定) を構
成可能。RAID 1を構成時には、同じデータを2台のハ
ードディスクに同時に保存して運用するため、万が一ハ
ードディスクが故障した場合にも交換を行うことで復旧が可
能です。



対応製品について

ロジテック株式会社様

LSV-MS2CWシリーズ、LSV-5S4CWシリーズ、LSV-5S4CW2シリーズの特徴

Logitec



↑ LSV-MS2CWシリーズ



↑ LSV-5S4CW/
LSV-5S4CW2/
LSV-5S4CS2/シリーズ

型番	LSV-MS2CW/ LSV-5S4CW	LSV-5S4CW2	LSV-5S4CS2
OS	Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup Edition		Windows Storage Server 2008 R2 Standard Edition
CPU	VIA nano CPU 1.3+GHz(1.6 GHz)	VIA nano X2 CPU 1.6+GHz(1.8GHz)	
メモリ	3GB	4GB	
推奨同時接続数	25台	50台	

障害発生にも安心。
ホットスワップに対応！

台のHDDドライブに障害が発生してもパリティデータの保持によりデータへのアクセスを維持することができ、ホットスワップによるリビルド作業で、通常状態に復帰する事が可能で、万一の故障発生時にもシステムを停止することなくメンテナンスが可能です。

※LSV-MS2CWシリーズ：HDDドライブを2台搭載しRAID1を搭載。
LSV-5S4CW/LSV-5S4CW2シリーズ：HDDドライブを4台搭載し、RAID5を搭載。

高速処理能力が威力を発揮

「ギガビットイーサネット（1000BASE-T）対応LANポート×2」、「高速CPU」、「大容量メモリ」の搭載により、高速データ転送を実現。

1000
BASE-T

高速
CPU

大容量
メモリ

NASの状況を
メールでお知らせ

不測の事態をメールでお知らせします。定期メール配信で楽に死活管理ができます。メールヘッダ、タイトルなどを編集できるので、どの場所のNASに問題が発生したのかすぐに特定できます。



エコ&経済的な節電を実現

夜間など、NASへのアクセスが無い時間は休止モードで節電します。
パワーボタンの挙動設定など、毎日/各曜日ごとに起動時間と休止時間を設定できるので、例えば1日12時間稼働にすることで約50kg/年のCO2削減ができます。



※SKYSEA Client View利用時には、暗号化機能をOFFにご利用ください。

対応製品について

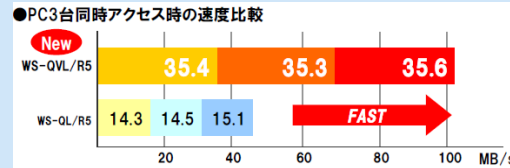
株式会社バッファロー様

WS-QVL/R5SEシリーズ、WS-QVL/R5シリーズ、WS-RVL/R5シリーズ、WS-6VL/R5シリーズ、WS-WVL/R1シリーズの特徴



Atom D510搭載で大容量データを高速転送

Intel製デュアルコアCPU「Atom D510」を搭載。さらに、メモリも2GB搭載することによって、データ転送速度をさらに高速化しました。

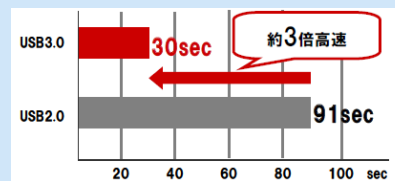


<測定方法>
 [PC] Dell Studio XPS 8100, CPU : Intel Core i7 (2.93GHz),
 Memory : 4GB, OS : Windows
 7 Home Premium 64bit
 [NAS] WS-QV4.9TL/R5, WS-Q4.0TL/R5 (共にCRADI5)
 PC3台から、NASへ3台同時アクセスし、シーケンシャルリードを計測。

型番	WS-QVL/R5SE WS-RVL/R5	WS-QVL/R5 WS-6VL/R5 WS-WVL/R1
OS	Windows Storage Server 2008 R2 Standard Edition	Windows Storage Server 2008 R2 Workgroup Edition
CPU	Intel Atom D510 1.66GHz (デュアルコア)	
メモリ	2GB	
推奨同時接続数	50台	

USB3.0ポート搭載で、外付けHDDに高速バックアップ

本製品はUSB3.0ポートを搭載。大容量のデータもより高速な転送が可能となり、USB3.0用外付けHDDをつないでバックアップが短時間で行えます。



<測定方法> WS-VL、WS-QLからHD-WL2.0TU3/R1へ800KBのファイル1,000個をコピー。ファイル転送タイログが消えるまでの時間を実測。

ホットスワップ対応

故障したディスクドライブは、電源をいれたままで簡単に取り外して交換できます。ディスククラッシュ時にも本製品を停止することなく障害ディスクを交換できます。



SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

※Microsoft社のライセンス許諾上、購入いただけないオプション：不許可端末検知/サーバー監査/申請・承認ワークフローシステム

※購入いただけるオプション：画面操作録画/送信メールログ/リモート操作

(詳細は機能一覧をご確認ください)

※Microsoft社のライセンス許諾上、ご利用いただけない機能：省電力支援/ソフトウェア配布/Windows更新プログラム配布実行/印刷物取り忘れ機能など

			LT	OP	ST			
資産情報 収集	収集可能な 資産項目	1	資産情報の自動収集	○	○	○		
		2	任意項目 (50個)	○	○	○		
		3	任意項目 (50個)	○	○	○		
	収集方法	4	資産情報インポート	○	○	○		
		5	スタンドアロン端末資産情報収集	○	○	○		
		6	利用者へのアンケート	○	○	○		
ネットワーク 機器 情報収集	収集可能な 資産項目	7	機器種別、ネットワーク機器名、SNMPサポート状況、IPアドレス、MAC アドレス、収集設定で追加した任意項目 (MIB情報)	○	○	○		
		8	自動判別できる機器種別：端末 (Windows/非Windows/Linux)、サー バー (Windows Server/Windows AD Server)、プリンター、複合機、 HUB	○	○	○		
		9	手動設定できる機器種別：ネットワーク機器、端末 (Mac/Intel vProテ クノロジー対応)、サーバー (非Windows Server)、ルーター、Firewall、周 辺機器、ソフトウェアインストールメディア、プロジェクター、IP電話、CD メディア、DVDメディア、Blu-rayメディア、その他	○	○	○		
	収集方法	10	ネットワーク機器収集 (手動での収集、または定期自動収集)	○	○	○		
		11	MIB情報更新 (定期的に自動更新、または手動更新)	○	○	○		
		12	レジストリ情報一覧表示	○	○	○		
資産管理	ハードウェア 一覧	13	ハードウェア情報一覧表示 (ネットワーク機器情報含む)	○	○	○		
		14	資産情報の表示設定 (一覧の表示項目、順序等を変更できる)	○	○	○		
		15	資産情報の詳細表示/編集	○	○	○		
		16	資産情報の検索/検索条件保存	○	○	○		
		17	資産情報の検索グループ作成 (抽出した端末機をグループ化)	○	○	○		
		18	指定項目が重複する端末機表示	○	○	○		
		19	CSVファイル入力 (インポート)	○	○	○		
		20	CSVファイル出力 (エクスポート)	○	○	○		
		21	ネットワーク機器の死活監視設定	-	-	-		
		22	MIB情報更新設定	○	○	○		
		23	MIB情報を手動で更新	○	○	○		
		資産情報 管理	資産変更状況	24	変更状況一覧表示	○	○	○
				25	絞り込み表示設定	○	○	○
				26	CSVファイル出力 (エクスポート)	○	○	○
		アプリケーション 一覧	アプリケーション 一覧	27	Officeインストール状況	○	○	○
28	ウイルス対策ソフトウェアインストール状況			○	○	○		
29	アプリケーションインストール状況			○	○	○		
30	OSインストール状況			○	○	○		
31	CSVファイル出力 (エクスポート)			○	○	○		
32	Windowsストアアプリケーションインストール状況			○	○	○		
33	Windows更新プログラムインストール状況			○	○	○		
34	実行ファイルインストール状況			○	○	○		
35	不許可ファイル検出状況			○	○	○		

			LT	OP	ST		
資産管理 運用	省電力支援	36	省電力設定状況表示	-	-	-	
		37	省電力設定を強制配布	-	-	-	
		38	電源切り忘れプリンター検索	-	-	-	
		定期電源OFF	39	電源OFFスケジュールの設定 (部署ごと、または端末機ごと)	○	○	○
			40	ソフトウェア配布	-	-	-
		ソフトウェア 配布・ インストール	41	ソフトウェア配布スケジュール設定	-	-	-
			42	配布したソフトウェアのインストール状況確認	-	-	-
			43	ソフトウェア配布自動実行設定	-	-	-
			44	ソフトウェア配布スクリプト自動生成ツール	-	-	-
			45	ソフトウェア配布中継	-	-	-
	46		ソフトウェア配布パック (複数ソフトウェアのインストール、アンインストール作業のグループ化)	-	-	-	
	47		端末機側での配布ソフトウェア優先実行	-	-	-	
	48		マルチキャスト配布	-	-	-	
	49		キャッシュ配布	-	-	-	
	50		配布 / 実行状況の確認	-	-	-	
	Windows更新プロ グラム配布実行	51	配布実行	-	-	-	
		52	配布状況の確認	-	-	-	
	Intel vPro テクノロジー対応	53	電源制御 (強制シャットダウン/強制再起動/無線LANでの電源ON)	-	-	-	
		54	ブルースクリーン状態のリモート操作	○	○	○	
		55	リモート操作中のBIOS設定	○	○	○	
	その他	56	Webブラウザ上での資産情報閲覧	-	-	-	
		57	インターネット経由での資産情報収集・管理	-	-	-	
		58	部署インポート	○	○	○	
		59	資産情報の自動定期バックアップ	○	○	○	
		60	端末機振り分け	-	-	-	
		61	ソフトウェア資産管理台帳	○	○	○	
		62	ソフトウェア情報登録支援	○	○	○	
		63	管理ソフトウェアの策定	○	○	○	
		64	申請・承認ワークフローシステム	-	-	-	
		65	保有ライセンスの記録・割当	○	○	○	
	運用ルール策定	66	ライセンス部材の記録	○	○	○	
		67	管理台帳の棚卸支援	○	○	○	
	保有ライセンスの記録・管理	68	台帳更新履歴の保存・閲覧	○	○	○	
		69	登録可能な ライセンス形態	○	○	○	
	利用状況を台帳と照合 台帳の更新	70	ライセンスに付帯される契約・権利：アップグレード版、使用期限契約ラ イセンス、ダウングレード使用権、アップグレード使用権、重複イン ストール権、セカンドライセンス	○	○	○	

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

		LT	OP	ST		
デバイス管理	登録・管理・棚卸	71	USBデバイス台帳自動登録	○	○	○
		72	USBデバイス棚卸	○	○	○
		73	USBデバイス台帳管理	○	○	○
		74	USBデバイスファイル確認	○	○	○
		75	Webブラウザ上での情報閲覧	-	-	-
		76	スタンドアロン端末への管理情報設定	○	○	○
		77	接続時のウイルスチェック	○	○	○
	管理者設定	78	USBデバイス登録設定	○	○	○
		79	USBデバイス管理者承認	-	-	-
	使用制限	80	部署別使用制限	○	○	○
		81	USBデバイスの複数部署管理設定	○	○	○
		82	ユーザー別使用制限	-	-	-
		83	デバイス種別制御	○	○	○
	PCログオン認証	84	申請・承認ワークフローシステム	-	-	-
デバイスアラート設定		85	USBメモリによるコンピューター使用制限	-	-	-
		86	記憶媒体使用	○	○	○
		87	記憶媒体使用(棚卸期間超過)	○	○	○
		88	記憶媒体書き込み	○	○	○
		89	BitLocker To Goで保護されていない記憶媒体使用	○	○	○
		90	USBデバイスによる不正ファイル持ち込み	○	○	○
91	USBメモリによるコンピューター使用制限	-	-	-		
メディア管理	登録・管理・棚卸	92	メディア棚卸	○	○	○
		93	メディアの台帳登録	○	○	○
		94	メディア台帳管理	○	○	○
		95	Webブラウザ上での情報閲覧	-	-	-
		96	スタンドアロン端末への管理情報設定	○	○	○
		97	接続時のウイルスチェック	○	○	○
		管理者設定	98	メディア登録設定	○	○
	99		部署別使用制限	○	○	○
	使用制限	100	ユーザー別使用制限	-	-	-
		101	メディア種別制御	○	○	○
	デバイスアラート設定	102	メディア使用	○	○	○
		103	メディア使用(棚卸期間超過)	○	○	○
		104	メディア書き込み	○	○	○

		LT	OP	ST			
ログ収集	収集可能なログ	105	起動・終了ログ	○	○	○	
		106	クライアント操作ログ	○	○	○	
		107	アプリケーションログ	○	○	○	
		108	ファイル操作ログ	○	○	○	
		109	クリップボードログ	○	○	○	
		110	システムログ	○	○	○	
		111	プリントログ	○	○	○	
		112	Webアクセスログ	○	○	○	
		113	ドライブ追加・削除ログ	○	○	○	
		114	フォルダ共有ログ	○	○	○	
		115	ファイルアクセスログ	○	○	○	
		116	ゲートウェイ検知ログ	-	-	-	
		117	不許可端末ログ	-	-	-	
		118	送信メールログ(Windows 端末対応メーラー: Outlook・Outlook Express・Windowsメール・Becky! Internet Mail・Thunderbird/Mac 端末対応メーラー: Mail)	※S(※1)	※S(※1)	○(※1)	
		収集方法	119	時間指定ログ収集	○	○	○
			120	リアルタイムログ収集	○	○	○
			121	ネットワーク接続端末ログ収集	○	○	○
122	スタンドアロン端末機ログ収集		○	○	○		
ログ閲覧(ビューア)	123		ログ検索	○	○	○	
	124		ログ検索条件保存	○	○	○	
	125	ファイル追跡	○	○	○		
	126	CSVファイル出力(エクスポート)	○	○	○		
	127	操作ログ追跡	○	○	○		
	128	全データサーバーからログを検索	-	-	-		
	129	ログ情報の詳細表示	○	○	○		
	130	ログデータのバックアップ	○	○	○		
	131	バックアップデータ閲覧	○	○	○		
	132	ログデータの自動定期バックアップ	○	○	○		
ログデータ保存	133	削除された端末機のログを閲覧	○	○	○		
	134	バックアップ時のデータ圧縮	○	○	○		
	135	ログデータを圧縮して保存	○	○	○		
	136	保存済みのログ、バックアップログを圧縮	○	○	○		
	137	スケジュール録画：設定した日時に録画	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
	138	検知録画：設定した操作をトリガーに録画を開始	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
	139	ワンタッチ録画：メイン画面のデスクトップビューから録画を開始	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
画面操作録画	検知対象	140	ウィンドウタイトル、アプリケーション実行、禁止アプリケーションの名前変更、業務外アプリケーション実行、レジストリ変更、インストール、システム構成変更、CSVファイル出力(エクスポート)、規定時間外端末機操作、特定フォルダアクセス、ドライブ追加、共有フォルダ書き込み、ローカル共有フォルダ作成/アクセスカスタマイズ、禁止ファイル持ち込み、実行ファイル不正操作、記憶媒体/メディア使用、記憶媒体/メディア使用(棚卸期間超過)、BitLocker To Goで保護されていない記憶媒体使用、記憶媒体/メディア書き込み、Webダウンロード、FTPダウンロード、Webアップロード、FTPアップロード、Web閲覧、掲示板/Webメール書き込み、電子メール送信、電子メール送信優先フィルタ、印刷ドキュメント名、印刷ファイルパス、OneDriveの利用	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	
		141	順再生/逆再生	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	
		142	等速・2倍速・4倍速	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	
		143	録画面像の切り出し/静止画保存	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)	
再生・保存	144	録画データとログデータの個別保存、保存期間を別々に設定	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
	145	マルチディスプレイ録画データの保存・再生(最大4画面まで)	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
	146	テキストログとの連動	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		
検索	146	テキストログとの連動	※G(※1)	※G(※1)	※G(※1)		

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

				LT	OP	ST		
ログ管理	送信メールログ	送信	147	送信メール保存	※S(※①)	※S(※①)	○	
		メールログ	148	添付ファイル保存	※S(※①)	※S(※①)	○	
		一覧表示	149	メール件名/送信者アドレス/受信者アドレス/添付ファイル有無	※S(※①)	※S(※①)	○	
		注意表示	150	管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	※S(※①)	※S(※①)	○	
			151	管理者へのメール通知	※S(※①)	※S(※①)	○	
			152	許可ドメイン以外への送信を検知	※S(※①)	※S(※①)	○	
			153	メールサイズにより添付ファイルの保存、破棄を選択	※S(※①)	※S(※①)	○	
	設定	154	送信メールログ本文検索	※S(※①)	※S(※①)	○		
	その他	155	Web利用状況	△(※①)	△(※①)	△(※①)		
		156	ユーザー作業状況	△(※①)	△(※①)	△(※①)		
		157	Webブラウザでのログ閲覧	-	-	-		
		158	インターネット経由でのログ収集・管理	-	-	-		
		159	SKYSEA Client View High Speed Log Search	-	-	-		
	サーバー監査	アクセスレポート	サーバーアクセス状況	161	サーバー別アクセス比較	-	-	-
				162	フォルダ別アクセス比較	-	-	-
163				ファイル別アクセス比較	-	-	-	
164				ユーザー別アクセス一覧	-	-	-	
165				端末別アクセス一覧	-	-	-	
166				時間帯別アクセスグラフ	-	-	-	
収集可能なログ			167	成功/失敗ファイルアクセスログ	-	-	-	
OSログ閲覧		サーバー監査ログ閲覧/Windows イベントログ閲覧	168	イベントログ蓄積	-	-	-	
			169	イベントログバックアップリストア	-	-	-	
			170	取得対象イベントログ設定	-	-	-	
		イベントログ種別	171	アプリケーションログ	-	-	-	
			172	セキュリティログ	-	-	-	
			173	システムログ	-	-	-	
			174	セットアップログ	-	-	-	
			175	転送されたイベントログ	-	-	-	
監査ログ種別	176	管理者操作(アカウント操作ログ、グループ操作ログ、パスワード操作ログ、監査ポリシー操作ログ、ロックアウトログ)	-	-	-			
	177	クライアント操作(ログオンログ、ログオフログ、ファイルアクセスログ、印刷ログ)	-	-	-			
セキュリティ管理	注意表示通知	通知方法	178	端末機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	○	○	○	
			179	注意表示ログ出力	○	○	○	
			180	メールによる通知	○	○	○	
			181	一定時間内のアラート/メールの集約	○	○	○	
			182	管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	○	○	○	
			183	キーワードごとにアラート通知のON/OFFを設定	○	○	○	
	注意表示設定	設定	184	アラート端末の自動解除設定	○	○	○	
			185	端末機/ユーザーごとの個別設定	△(※②)	△(※②)	△(※②)	
			186	グループごとの設定	○	○	○	
			187	設定内容の一覧表示	○	○	○	
			188	スタンドアロン端末機の設定	○	○	○	
			189	検知時に実行するファイル(コマンド)の設定	○	○	○	

				LT	OP	ST	
資産アラート	端末アラート(注意表示)設定項目	190	ネットワーク機器の死活監視	-	-	-	
		191	端末未起動期間設定	○	○	○	
		192	資産情報の変更	○	○	○	
		193	HDD容量不足(MB) (%)	○	○	○	
		194	リース/レンタル切れ	○	○	○	
		195	許可/不許可アプリケーション(デスクトップアプリ/Windowsストアアプリ)	○	○	○	
		196	インストール診断(インストール必須アプリケーション)	○	○	○	
		アプリケーションアラート	197	ウィンドウタイトル	○	○	○
			198	アプリケーション実行(デスクトップアプリ/Windowsストアアプリ)	○	○	○
			199	禁止アプリケーションの名前変更	○	○	○
			200	業務外アプリケーション実行	○	○	○
			201	レジストリ変更	○	○	○
			202	インストール	○	○	○
			203	システム構成変更	○	○	○
			204	Windowsでのストアの利用	○	○	○
205	Windowsストアアプリの自動更新		○	○	○		
206	不許可ファイル検索		○	○	○		
ファイル操作アラート	207	CSVファイル出力(エクスポート)	○	○	○		
	208	規定時間外端末機操作	○	○	○		
	209	Autorun(自動実行)	○	○	○		
	210	特定フォルダアクセス	○	○	○		
	211	ドライブ追加	○	○	○		
	212	共有フォルダ書き込み	○	○	○		
	213	ローカル共有フォルダ作成	○	○	○		
	214	ローカル共有フォルダアクセス	○	○	○		
	215	カスタマイズ	○	○	○		
	216	禁止ファイル持ち込み	○	○	○		
その他アラート	217	実行ファイル不正操作(実行ファイル作成、コピー、別名保存、名前変更で注意通知)	○	○	○		
	218	通信デバイス使用	○	○	○		
	219	Webアップロード/ダウンロード	○	○	○		
	220	FTPアップロード/ダウンロード	○	○	○		
	221	Web閲覧	○	○	○		
	222	掲示板/Webメール書き込み	○	○	○		
	223	印刷枚数	○	○	○		
	224	印刷ファイルパス	○	○	○		
	225	印刷ドキュメント名	○	○	○		
	226	印刷禁止	○	○	○		
	227	印刷物取り忘れ	-	-	-		
	228	残業時間お知らせメッセージ	○	○	○		
	229	管理者権限ログオン抑止	○	○	○		
	230	OneDriveの利用	○	○	○		
	231	OneDriveの同期設定	○	○	○		
232	ユーザーアラートを優先する	- (※③)	- (※③)	- (※③)			
233	電子メール送信	※S(※①)	※S(※①)	○(※①)			
234	電子メール送信宛先フィルタ	- (※③)	- (※③)	- (※③)			
235	不許可端末検知	-	-	-			

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

		LT	CP	ST		
ユーザーアラート (注意表示) 設定項目	アプリケーションアラート	236 ウィンドウタイトル	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		237 アプリケーション実行(デスクトップアプリ/Windowsストアアプリ)	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		238 禁止アプリケーションの名前変更	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		239 業務外アプリケーション実行	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		240 レジストリ変更	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		241 インストール	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
	ファイル操作アラート	242 システム構成変更	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		243 Windowsストアの利用	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		244 CSVファイル出力	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		245 規定時間外端末機操作	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		246 特定フォルダアクセス	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		247 共有フォルダ書き込み	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		248 カスタマイズ	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		249 禁止ファイル持ち込み	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		その他アラート	250 実行ファイル不正操作 (実行ファイル作成、コピー、別名保存、名前変更で注意通知)	- (※3)	- (※3)	- (※3)
			251 記憶媒体/メディア使用	- (※3)	- (※3)	- (※3)
	252 記憶媒体/メディア使用(棚卸期間超過)		- (※3)	- (※3)	- (※3)	
	253 記憶媒体/メディア書き込み		- (※3)	- (※3)	- (※3)	
	254 USBデバイスによる不正ファイル持ち込み		- (※3)	- (※3)	- (※3)	
	255 Webアップロード/ダウンロード		- (※3)	- (※3)	- (※3)	
	不許可端末検知/遮断	不許可端末ログ	256 FTPアップロード/ダウンロード	- (※3)	- (※3)	- (※3)
			257 Web閲覧	- (※3)	- (※3)	- (※3)
		注意表示	258 掲示板/Webメール書き込み	- (※3)	- (※3)	- (※3)
			259 OneDriveの利用	- (※3)	- (※3)	- (※3)
			260 USBメモリによるコンピューター使用制限	- (※3)	- (※3)	- (※3)
			261 IPアドレス/MACアドレス	-	-	-
WSUS連携	262 許可設定状況	-	-	-		
	263 不許可端末を一覧表示	-	-	-		
WSUS連携	遮断	264 管理機の画面にメッセージを表示(ポップアップ通知)	-	-	-	
		265 管理者へのメール通知	-	-	-	
	WSUS連携	266 検知した不許可端末をネットワークから遮断	-	-	-	
		267 Windows Updateの実行スケジュール設定(部署ごと、または端末機ごと)	○	○	○	
268 WSUSクライアント設定	○	○	○			

		LT	OP	ST		
レポート	ログ解析レポート	269 ユーザー作業状況(ユーザー別作業時間解析、部署別作業時間解析)	- (※3)	- (※3)	- (※3)	
		270 ファイルサーバーアクセス解析(時間帯別/端末別ファイルサーバーアクセス推移、ファイル名別ファイルサーバーアクセス比較)	Δ(※1)	Δ(※1)	Δ(※1)	
		271 セキュリティ(端末別アラート比較、日別アラート件数推移)	Δ(※1)	Δ(※1)	Δ(※1)	
		272 端末稼働状況(稼働時間比較、時間帯別使用状況解析、日別稼働台数推移、未稼働端末一覧、端末別デバイス書き込み比較)	Δ(※1)	Δ(※1)	Δ(※1)	
		273 プリント出力解析(ドキュメント別/端末別プリント出力比較、プリンター別比較、IPアドレス別比較)	Δ(※1)	Δ(※1)	Δ(※1)	
		274 アプリケーション解析(端末別/日別アプリケーション使用比較グラフ)	Δ(※1)	Δ(※1)	Δ(※1)	
		275 Webアクセス解析(時間帯別Webアクセス推移、端末別Webアクセス比較、Web別利用時間推移)	Δ(※1)	Δ(※1)	Δ(※1)	
		経費節減レポート	276 サーバシミュレーション	-	-	-
			277 ファイルサーバー利用状況レポート	-	-	-
			278 コンピューター利用状況レポート	-	-	-
	279 プリンター利用状況レポート		-	-	-	
	資産レポート	280 端末利用状況レポート	-	-	-	
		281 ライセンス利用状況レポート	-	-	-	
		282 不許可アプリケーションインストール状況レポート	-	-	-	
		283 不許可アプリケーションインストール状況レポート(Windowsストアアプリ)	-	-	-	
		284 必須アプリケーション未インストール状況レポート	-	-	-	
	その他	285 傾向分析レポート	-	-	-	
		286 注意表示レポート	-	-	-	
		・webブラウザによるログ解析レポート	○	○	○	
			・ユーザー作業状況(ユーザー別/部署別作業時間解析)	○	○	○
		287 資産・ログ活用レポートライブラリ	-	-	-	
		リモート操作	288 端末機をリモート操作	※R	○	○
			289 端末機画面を管理機で表示	※R	○	○
			290 複数同時リモート接続	※R	○	○
			291 マルチディスプレイ時の操作画面の切り替え	※R	○	○
			292 操作対象の端末機上に、操作中である旨のメッセージを表示	※R	○	○
293 管理機画面を端末機で表示	※R		○	○		
294 リモート操作中のファイル転送	※R		○	○		
295 リモート操作中のクリップボード連携	※R		○	○		
296 複数端末機画面を管理機で巡回表示	○		○	○		
管理者設定	297 全画面表示		※R	○	○	
	298 縮小表示(ズーム 0-100%)		※R	○	○	
	299 等倍表示(自動スクロール/手動スクロール)		※R	○	○	
設定操作	300 画面確認・リモート操作開始時、端末機側に許可を要求		※R	○	○	
	301 リモート操作時の画面転送設定	※R	○	○		
	302 端末機側のデスクトップへ描画	※R	○	○		
	303 ミラードライバー設定	※R	○	○		

SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧

			LT	OP	ST		
メンテナンス	キーボード・マウス転送	304	複数端末機を一斉操作	※R	○	○	
		305	複数端末機のウィンドウ画面をセンタリング/左上にそろえる	※R	○	○	
		306	複数端末機のウィンドウ画面を代表画面にそろえる	※R	○	○	
		307	操作中の端末機ロック	※R	○	○	
		308	一斉操作/単体操作の切り替え	※R	○	○	
	端末機制御	端末操作	309	資料配布(任意ファイルの配布・回収)	-	-	-
			310	電源制御(ログオン/ログオフ/再起動/電源ON/OFF)	-	-	-
			311	マクロ実行	-	-	-
			312	メッセージ配信	○	○	○
			313	電源OFFスケジュール設定	○	○	○
			314	アンケート配信	○	○	○
			315	実行ファイルの配布と実行	○	○	○
			316	部署別インストーラー作成	△(※④)	△(※④)	△(※④)
			317	リモートインストーラーツール	-	-	-
			操作画面	操作画面	318	端末表示	○
319	ユーザー表示	○			○	○	
320	デスクトップ表示	○			○	○	
321	リスト表示	○			○	○	
322	操作画面の折りたたみ表示	○			○	○	
323	お気に入りタブ	○			○	○	
324	機能ガイド	○			○	○	
325	ふきだしヒント	○			○	○	
326	アラート端末表示(アラート端末のデスクトップ画像のみ表示)	○			○	○	
327	端末機閲覧画面検索機能	○			○	○	
エンタープライズモード	328	端末選択時資産情報詳細表示			○	○	○
	329	ソフトウェア一覧のマトリックス表示			○	○	○
	330	端末検索		○	○	○	
	331	各画面設定の保存復帰		○	○	○	
	332	ドッキングウィンドウ		○	○	○	
	その他	333		通信帯域制限	○	○	○
334		SKYSEA Client Viewリモートアップデート		○	○	○	
335		管理サーバー切り替え		-	-	-	
336		サーバー間の端末機移動	-	-	-		
337		管理機のパスワード認証(起動時)	○	○	○		
338		管理機ごとの管理権限部署設定	-	-	-		
339		管理機ごとの使用機能の利用設定	-	-	-		
340		データサーバーの中継構成	-	-	-		
341		複数マスターサーバー連携による一元管理	-	-	-		
342		Active Directoryユーザー連携	-	-	-		
343		アンインストール用期限付きパスワード発行	○	○	○		
344		管理コンソールの各種設定情報バックアップ / リストア	○	○	○		

【凡例】○搭載あり△一部搭載- 搭載なし

※ R リモート操作オプション、※ G 画面操作録画オプション、※ S 送信メールログオプション
(別途オプション製品の購入が必要となります)

※ 管理機はクライアントPCで使用して下さい。

※ Mac、Linuxの場合は、お問い合わせ下さい。

※① 利用状況(ログの容量)によっては、負荷が掛かる可能性があるため、利用の推奨は致しません。

※② ユーザ毎の個別設定は利用できません。

※③ ユーザ別の機能のため、使用はできません。

※④ インストール後に部署を移動するか、アンケートの部署設定により、部署の設定を行って下さい。

NASへのSKYSEA Client Viewのインストールについて



注意事項

SKYSEA Client Viewを対応NAS製品にインストールする場合は、以下の事項にご留意下さい。



- 1. SKYSEA Client Viewをご用意下さい**
(NAS専用版等はありませんので、通常版をそのままご利用下さい)
- 2. SKYSEA Client ViewのインストールCDの内容をNASにフォルダ共有で使ってコピーして下さい**
- 3. NASにリモートデスクトップ接続か、キーボード・マウス・ディスプレイを接続して、SKYSEA Client Viewのインストールマニュアルを参照の上、インストールを行って下さい**

※その他

- 1) 英語OSとして認識されている為、OSが英語表記となっています。通常「規定のWebサイト」⇒NAS「Default Web Site」など
- 2) OSが「Windows Strage Server 2008 R2」の場合は、資産管理上は「Windows Server 2008 R2」と表示されます。
- 3) OSが「Windows Strage Server 2012 R2」の場合は、資産管理上は「Windows Server 2012 R2」と表示されます。
- 4) NASに「MSXML6.0」がインストールされている場合はアンインストールしてから、SKYSEA Client View マスターサーバーをインストールしていただく必要があります。

その他、NAS使用時の留意事項

- 本資料に記載の『SKYSEA Client View NAS使用時機能一覧』で「機能あり」と記載されている機能以外は、**ライセンス規約上、ご利用頂くことは出来ません。**
- 弊社サポート窓口にお問い合わせ頂いた場合に、動作対象外環境での利用や、ライセンス条項に反する使い方であることが判明した場合には、弊社はサポートサービスを終了させて頂くことがあります。
- SKYSEA Client ViewをNASにインストールする際には、**NAS使用許諾条件の記載された追加ライセンス条項を同意の上**、利用を開始して下さい。SKYSEA Client ViewをNASにインストールされる際には、別途、用意されているNAS使用許諾条件の記載された書面をSKYSEA Client Viewの使用許諾契約書と共に保管するようにして下さい。
- SKYSEA Client ViewをインストールするNASについては、**NASは出荷時初期状態**から、IPアドレス等のネットワーク機器の設定など、NASを動作させる上で必要な設定をすべて行った上で、正常にNASが動作することを確認してから、SKYSEA Client Viewをインストールして下さい。運用中のNASへのSKYSEA Client Viewのインストールは動作保証しておりません。
- **一般的なサーバーコンピューターをインストールする場合と比較して、NASの場合、CPU能力の違いから、ログ閲覧等管理機ソフトウェアの動作が、遅くなります。**管理機の処理速度が重要な場合には、事前の動作検証等を行うようにして下さい。
(クライアントPCの処理速度等は変わりません)

その他、NAS使用時の留意事項

- SKYSEA Client Viewマスターサーバー／データサーバー専用NASをご利用頂くことを弊社では強く推奨します。NASのファイルサーバーとしても共用する場合には、ディスクの空き容量や処理能力にご注意下さい。なお、NASをファイルサーバーとしても共有する場合には、SKYSEA Client Viewでの最大接続台数は、NASメーカー様の推奨される接続台数に制限されますので、ご注意下さい。
- 標準機能のログ解析、オプションの送信メールログ、画面操作録画については、ログ容量が多い場合には、負荷が高くなり、ソフトウェアの動作に時間が掛かる場合があります。ただし、ログの容量については、お客様のクライアントの利用状況により大きく変動致します。そのため、弊社としては、これらの機能については利用を推奨致しません。
- 製品仕様上、マスターサーバーに管理機をインストールしていただきますが、管理機としての機能はクライアントPCにてご使用下さい。
- 弊社サポートをお問い合わせ頂く際には、必ず、NASをSKYSEA Client Viewのマスターサーバー／データサーバーとして利用していることをお伝え下さい。

商品に関するお問い合わせや最新情報は…

Webサイト

SKYSEA

検索

商品に関するお問い合わせは、Webサイト(<http://www.skyseaclientview.net/>)よりお受けしております。

03-5860-2622(東京)
06-4807-6382(大阪)

受付時間 9:30～17:30(土・日・祝・祝、ならびに当社の定める休業日を除く平日)

インターネット
グループウェア

Sky株式会社 — <http://www.skygroup.jp/>

■ 本 社

〒532-0003

大阪市淀川区宮原3丁目4番30号 ニッセイ新大阪ビル20F
TEL.06-4807-6374 FAX.06-4807-6376

■ 東京支社

〒108-0075

東京都港区港南2丁目18番1号 JR品川一ースビル9F
TEL.03-5796-2752 FAX.03-5796-2977

■ 札幌支社

仙台支社 横浜支社 三島支社 名古屋支社 神戸支社
広島支社 松山支社 福岡支社 沖縄支社

●SKYSEA および SKYSEA Client View は、Sky株式会社の登録商標です。●その他記載されている会社名、商品名は、各社の登録商標または商標です。●本文中に記載されている事項の一部または全部を複写、改変、転載することは、いかなる理由、形態を問わず禁じます。●本文中に記載されている事項は予告なく変更することがあります。